

高齢者の生活行動と家族・家・福祉の相互関係

についての地理学的調査にご協力ください！

筑波大学生命環境系 助教 久保倫子

【研究の概要】 本研究は、公益財団法人トヨタ財団の研究助成「国際共同研究による持続可能な都市発展モデルの構築—都市発展と縮退受容を両立する都市像の実現を目指して—（研究代表：久保倫子）」の一部で実施するものです。これは、東京大都市圏の郊外の変遷を踏まえ、高齢化や居住環境の衰退が進む郊外地域で生じている問題を把握し、その解決を目指す研究です。将来的には、欧米で取り組まれている先進的な都市政策などを日本の実態に合うように改変し、日本の都市居住問題の解決に貢献していきます。今回の調査では、高齢者を中心に皆様の生活行動（休日と平日の48時間）を記録します。家庭内で賄われてきた福祉（家事や育児、介護）がどのように変化してきたか、その変化が生活行動にどのように影響しているかを明らかにします。お忙しいところ恐縮ですが何卒ご協力をお願いします。

世帯主様にお答えいただくアンケート（世帯に1通：カラー）と個人にご記入いただく、もしくは調査員と話しながら回答いただく生活調査票（個人に1通：白黒）があります。

①日曜（もしくは祝日）に調査キットをお渡ししますので、お時間のある時に世帯用アンケート（カラー）にご記入をお願いします。当日と翌日の行動を覚えておいてください。

②日曜（祝日）とその翌日の行動について、翌日、調査員が訪問もしくは電話してお聞きします。個人用調査票（白黒）を調査員に渡していただき、前日の行動について調査員が質問しますのでご回答ください。

→個人用の生活調査票は、同居家族の全員にご記入をお願いします。ご高齢の方には調査員とお話ししながら回答いただき、調査員が記入する方法をお勧めします。日曜に調査票一式をお渡しする際に、翌日以降に訪問／電話連絡して良い時間をお知らせください。ご自身で記入できる場合には、火曜の訪問時に調査員にお渡しください。もしくは、返信用封筒に全ての調査票を入れてポストに投函してください。

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた調査の結果は、統計的に処理し、個人が特定できない状態にして公表いたします。アンケート調査や追加インタビュー等で得られたデータについても施錠できる研究室内で保管いたします。調査票は、一定期間保管したのちに、筑波大学における機密文書の処理方法に則って処分いたします。なお、アンケート調査を含む龍ヶ崎市の地域調査は龍ヶ崎市役所の許諾および筑波大学の研究倫理委員会による承認を受けております。

【問い合わせ先】 久保倫子（くぼともこ） tmkkb@geoenv.tsukuba.ac.jp

【筑波大学人文地理学研究室】 <https://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~human/index.html>

【公益財団法人トヨタ財団研究助成】 <https://www.toyotafound.or.jp/research/2019/>